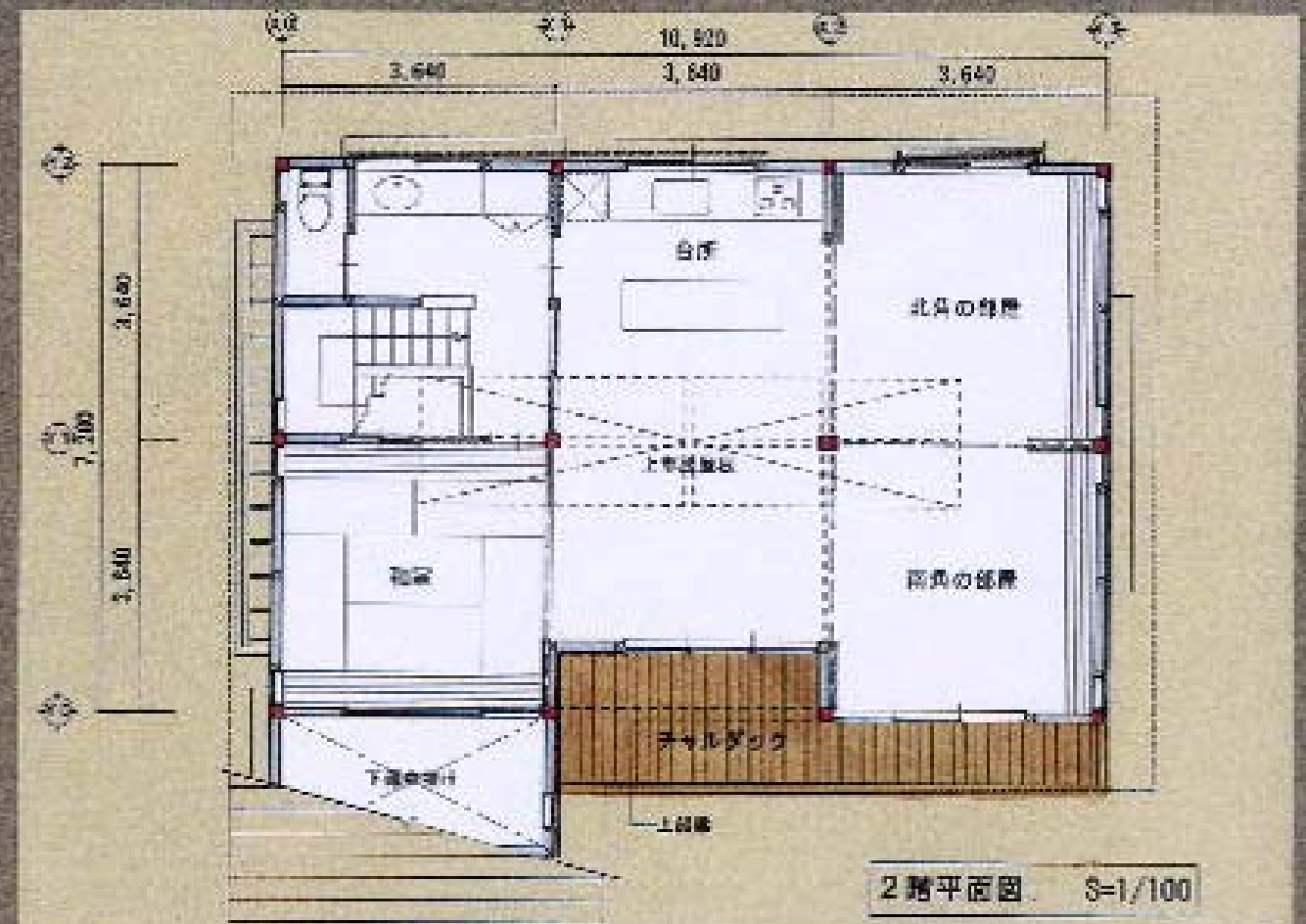
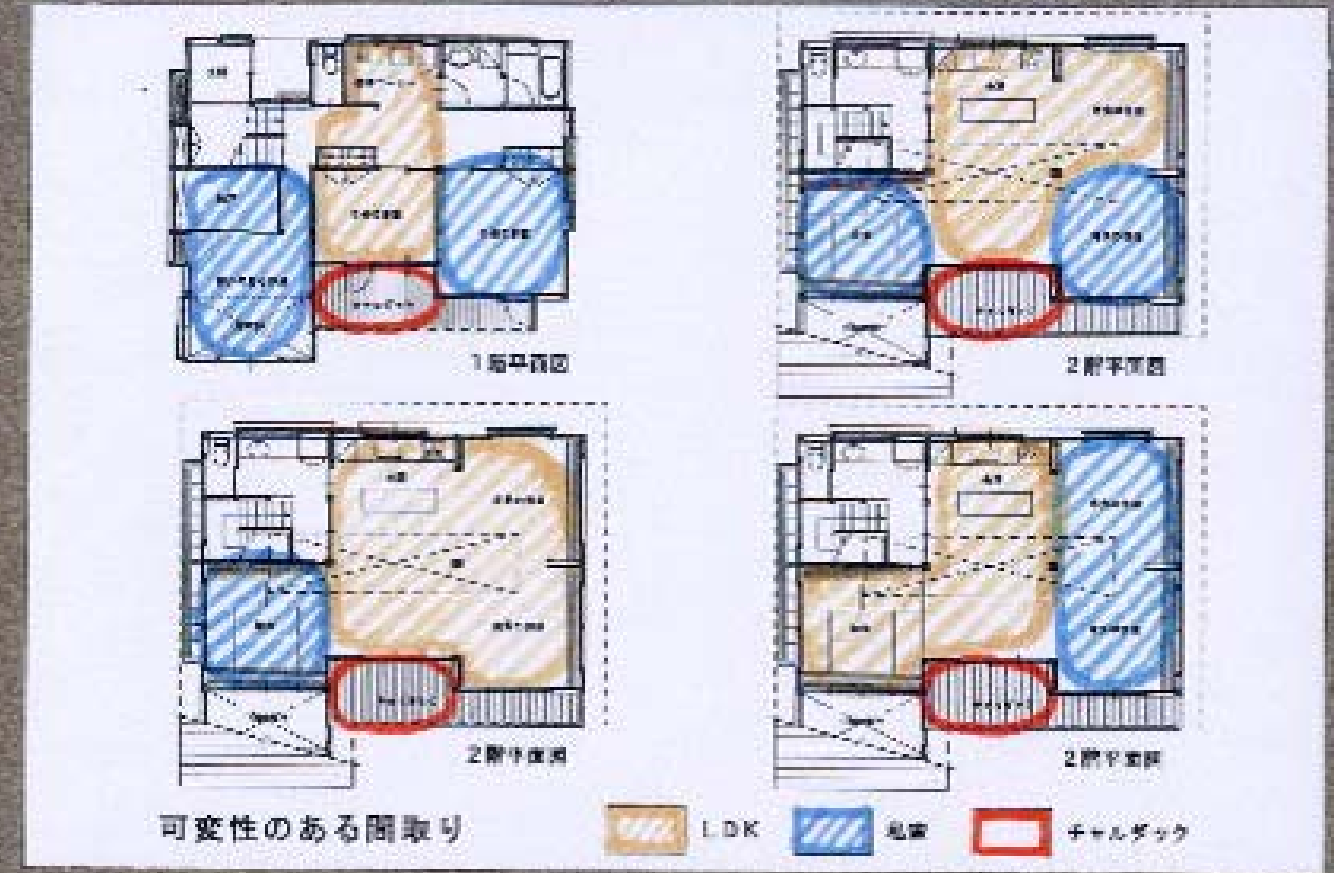


チャルダックのある家 設計趣旨



「木を見せたい」がコンセプト。県産材を内部のメインの柱、梁、桁、床や小屋組で見せてこそ温もりや味わいを楽しめる。外部は格子、戸袋、チャルダック等に使用。簡単に加えたり補修も可能な材料です。グリッドは2間、サブグリッドを1間とし骨太で大きな架構に。外部の木部は街並みを構成し、大きな架構の間取りは、成人親子4人が、これからの永いライフサイクルにあわせて住みこなす可変性のある無限定の空間です。木に囲まれ、光と風の動きを楽しむ家です。



外壁：土壁、格子、戸袋、チャルダックは県産材。大きな架構に加えられた小さな空間も下見板張りです。準防火地域ではガレバリウム鋼板の平置きをイメージ。

チャルダック！ブルガリアの伝統的な木造住宅には間取りの重要な場所にチャルダックと呼ばれる木の空間があります。壁や窓枠に囲まれた外部空間は夏の陽を遮り、冬の陽を深く取り込みます。家族団欒の大切なスペースは物の防犯にも役立っています。木を使う。それは修復が可能で流行のないまの景観になります。



北立面图



南立面图



東立面图

